

令和 7 年産鳥取県産農産物銘柄設定等意見聴取会議事録

第 1 開催日時：令和 6 年 12 月 4 日（水曜日）13 時 20 分～14 時 35 分

第 2 開催場所：鳥取第 1 地方合同庁舎 5 階会議室

第 3 出席者

（申請者・行政機関）

鳥取県農林水産部農業振興局

生産振興課 水田作物担当 課長補佐 稲本 勝太

（学識経験者・育成者）

鳥取県農業試験場 室長 中村 広樹

（登録検査機関・生産者）

株式会社 山田農園 代表取締役 山田 優作

（実需者）

有限会社 太田酒造場 書面参加

（中国四国農政局）

生産部生産振興課 課長補佐 宮前 智
安全管理専門職 荒尾 健一

第 4 議題

1. 開会（農政局）

定刻よりも少し早いですが、予定していた全員が揃いましたので、只今から令和 7 年産鳥取県産農産物銘柄設定等意見聴取会議を開催致します。

本日は、ご多忙の中ご参集頂きましてありがとうございます。

2. あいさつ（農政局）

省略

3. 事務連絡（農政局）

省略

4. 銘柄設定の申請内容の説明

ア「五百万星」設定の申請

（鳥取県（以下「申請者」という。）の説明）

鳥取県は、県民一人当たりの日本酒消費量が比較的高い地域です。また、県内では 18 の蔵元で日本酒を醸造販売されていて高い評価を得ております。「五百万星」については、これまで県内 2 蔵元より、現在醸造販売したいとの要望を受けて生産が行われていると

ころであります。

本品種は、「五百万石（比較品種）」より収量性に優れるなど栽培性が良好であることも特徴である。登録後は、鳥取県オリジナルの銘柄として、ブランド化をしていきたいというのが申請理由であります。

生産状況についてですが、既に試験醸造を始めております、本年産については30aの作付けで約1.2tの収穫予定ですが、来年以降は、300a、12t程度まで生産を伸ばせたらと考えている。検査を行う予定の登録検査機関については、株式会社山田農園としております。

品種の特性については、表を付けさせて頂いております。いずれも、「五百万石」と比較してということであります。細かいところの数字は省かせて頂きますが、主な特徴としては、心白の発現については同等である。生育については、出穂期、成熟期は同等であり稈長及び穂長はやや短い。千粒重はやや大きい、また発芽性は難であるというような特徴を有しています。来歴ですが鳥取県の試験場で行っているものであります、平成21年「石川酒52号」を種子親、「鳥姫」を花粉親として人工交配し、同年秋には交配種子を得た。平成22年の夏にF3世代を栽培し、交配を重ねていき、その中から心白が多くて、心白発現率が高く、酒品質が優れる型を選抜したということであります。平成28年までの4年間でF5～8世代となり、「五百万石」と比較した栽培試験では、いろいろ優れた特性を把握しました。平成28年度に4年間のデータを用いてその特性を評価した結果、品種登録に至ったということであります。

育成者権の侵害については、試験場で育成し、出願者が鳥取県であることで、これには該当しないということであります。

以上です。

イ 品種鑑定上の特徴説明

（登録検査機関 株式会社 山田農園（以下「登録検査機関」という。）の説明）

鑑定上の特徴ですが、今回の申請品種「五百万星」と他の主要品種である「五百万石」との比較になります。粒形は膨らみが大きい。色について、光沢は「五百万石」と同等だが、飴色が強い。皮部の厚薄は薄く透明感があります。

心白、腹白の発現の程度は、ばやけているが腹白は発生しやすく、縦溝の深浅については、深くなっています。胚の大小及び胚の形は中程度となっており、エグレはやや浅くなっています。

千粒重は29.6g程度、「五百万石」は26g程度であり、比較するとやや重いとなっております。千粒重につきましては、太田酒造さんの過去3年分の試験結果をもとに県にも提出はしていますけれども、その平均を出したものです。

以上です。

5. 申請サンプルの確認

出席者全員で申請サンプルの確認

6. 意見聴取

(農政局)

それでは、再開します。議題（３）の意見聴取に入りたいと思います。ご出席の方の忌憚のないご意見を頂き、銘柄設定申請に対する判断としたいと思っております。

ただ今、申請者及び登録検査機関より、「五百万星」についての説明があったところです。

本来ですと実需者様からご意見を頂きたいのですが、本日仕込みの関係で、急遽欠席の連絡を受けております。事前に頂いています、意見書を私の方で読み上げます。

- ・「五百万星」については、千粒重が大きく、米に厚みがある。
- ・蒸し上がり、手ざわりが柔らかく弾力がある（75%精米）。自社で使用する酒米品種の中では、改良雄町と似たような手ざわりの良さがある。
- ・麴造での保水性があり、麴が作りやすい。

理由として、「玉栄、五百万石、鳥姫、強力」と比べて、麴の破精込みが良く、品温経過が順調に進む。

- ・放冷でのサバケが良く、作業性が良い。
- ・新酒時でも、「五百万石、鳥姫」と比較して味がしつかりとある。
- ・貯蔵販売した際の客の反応が良い。一時的に在庫がなくなるぐらい販売状況は好評。

以上のことから、「五百万星」の銘柄設定に賛同いたします。

と、太田酒造様より「五百万星」の銘柄設定に対しての要望を頂いております。

あと、鳥取県農業試験場からも、今後、面積拡大が予想され、生産現場において混乱を生じさせないよう銘柄に設定することが望ましい。と、意見書を頂いておりますが、その他何かご発言いただけますか。

(学識経験者・育成者)

特にありません。

(農政局)

これまでのところで何かご発言ございますか。それでは、私の方からお伺いします。作付けの方向性について、「五百万石」から「五百万星」への作付転換という方向性、もしくは、違う品種からの作付け変更の方向性になるのですか。

(申請者)

結論は、実需者である酒蔵さんの意向になると思います。他の酒蔵さんも今年の様子見だと思うので、そこで良さそうだったら同じように、「五百万石」全部じゃないか分からないですけども、変えて行くのではないかと思います。

作付けとしましては、八頭郡若桜地区で拡大して行き、太田酒造さん以外のところでも、使用したいとなれば、地域も広げていく方向です。

(登録検査機関)

令和5年産の作付けが56.3aであったが、今年の作付けが30aとなってるが、これはどういったことか知りたい。

(申請者(行政機関))

作付けが減少した理由として、酒蔵側では「五百万星」の使用希望はあったが、生産者のところにまで伝わらず6年産は作付けが出来なかったため、来年に向け、もう一度伝えていくと聞いております。

(農政局)

ありがとうございます。

実需者の話をもっとお聞きしたかったですが、登録検査機関様で何かお聞きしていますでしょうか。

(登録検査機関)

太田酒造さんには、これまでで2回使って頂いて、使いやすいですよという話を頂いています。びっくりするぐらい網下が出ない、網が詰まっているんじゃないかなと思うくらいに少なくかなり良好です。あと仕込みについて聞いたら、「五百万星」は、「五百万石」より仕込みやすいんじゃないか、という感触らしいです。

精米歩留まりがいいところと、アルコール歩留まりも良く、酒粕も少なく、良質原料を使った、県のオリジナルができればと思います。

(農政局)

ありがとうございます。

他にご意見等ございましたらお受けしますが、ありますでしょうか。

7. まとめ(農政局)

ただ今、「五百万星」の銘柄設定について、皆様からご発言を頂きました。その結果を改めて確認をさせていただきます。

ご出席の皆様方から、銘柄設定についてそれぞれの立場からご発言なり、ご意見を頂きました。結果、「五百万星」について、銘柄設定の要件をクリアしている。特性、品質の状況なども問題ない。特段の反対意見もないことから、銘柄に設定することは「適当」とであると判断させて頂きたいと思います。

後日、頂きましたご意見を基に議事録を作成し、申請書とともに農林水産省農産局長へ報告させていただきます。農産局で産地品種銘柄の設定について議論され、産地品種銘柄として設定されれば、来年3月末までに規格規程の改正が行われます。その際には関係者の皆様にも私どもから規格規程の改正通知も送付させていただきます。また、申請者様にも結果の通知を合わせて送付させて頂くということで事務を進めて参ります。

なお、産地品種銘柄として設定されれば、県内の登録検査機関にサンプルの配布を行いますので、申請者様には農政局あてに1 kg程度提出いただくこととなります。

8. 閉会

この他に皆様方から特段のご発言がなければ、以上を持ちまして「五百万星」についての国内農産物の銘柄設定等に係る意見聴取会を閉会とします。

本日は、お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございました。